

(様式4)
令和7年11月21日

令和7年度 第2回 小中一貫校むくのき学園 学校協議会 実施報告書

校名 大阪市立啓発小学校
大阪市立中島中学校
校長 古田晃久

| | | | |
|------|---|-------------------------------|--|
| 日時 | 令和7年11月20日（木曜日） 18:00～19:15 | | |
| 場所 | 校長室 | | |
| 出席者 | 委員など | 保坂会長 稲毛委員 吉原委員 脇阪委員 床田委員 徳田委員 | |
| | 校園 | 古田校長 松田副校長 中原教頭 東教頭 太田首席 | |
| | 区役所 | 上井課長代理 | |
| 議題 | (1) 国際バカロレア教育の導入について (2) 令和7(2025)年度「運営に関する計画・自己評価（中間評価）」について (3) 令和7(2025)年度「全国学力・学習状況調査」の結果について (4) 今後の学校行事について (5) 学校運営に関する提言等 | | |
| 協議要旨 | 協議の結果 | | 意見の概要 |
| | (1) | 理解を得た | ・学校からの文書やHPをみても、具体的なイメージがわからない保護者が多く、英語教育の一環ととらえられている方が多いように思う（徳田委員） ・説明会は開催するのか（吉原委員） →今のところ予定はない（古田校長） ・バカロレアの導入は、学校の特色となり、児童生徒も増えると思われる。楽しみであり、期待している ・小学校と中学校の数値結果がかけ離れているのはなぜか（吉原委員） →同一分母での調査ではないので比較することはできない。調査学年としての特色が出る（古田校長） ・授業や勉強が楽しければ成績も上がると思うが、そのやる気をどうやって引き出すのかがポイントである（吉原委員） ・家庭環境や学習意欲など原因はさまざまであると推測するが、どのような対策をとっているのか（保坂会長） →ICT機器を利用しての学習習慣の定着を図り、また、「わからないからもういい」とならないように、児童生徒の状況に寄り添い、教員は根気よく指導を行っている（古田校長） ・進路希望調査は何年生で行っているのか（床田委員） →具体的に受験校名を書くという調査自体は9年生になってからであるが、小学校からキャリア教育と |
| | (2) | 理解を得た | |
| | (3) | 確認された | |

| | | |
|------|----------------------------|---|
| | (4) 確認された (5) 理解を得た | して、仕事についていろいろな形で体験を行っている（古田校長） ・学力の数値ではなく、子どもたちに生きる力をつけていってほしい。学校が新しい価値観をリードし、子どもたちが自慢に思えるような学校になってほしい |
| 協議資料 | | ■レジメ 1 部 ■国際バカロレア教育導入に係る関係資料 ■令和 7 (2025) 年度「運営に関する計画・自己評価（中間評価）」 ■（小学校）令和 7 (2025) 年度「全国学力・学習状況調査」の結果 （中学校）令和 7 (2025) 年度「あゆみ」 |
| 備考 | 傍聴者 [0] 名 | |